

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2026年 8月 24日 ～ 2026年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2026年 8月 24日 ～ 2026年 8月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 9月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画は、こどもと保護者のニーズ・課題を客観的に分析した上で作成し、内容を示しながら丁寧に説明を行っている	課題を客観的に分析した上で作成し、内容を示しながら都度見直しを行なっている	個別支援計画で培った丁寧な説明・共感的な関わりを土台に、面談や連絡帳等を通じて日々の支援内容や狙いをより具体的に伝える機会を増やす
2	様々な体験を理念の一つとして掲げ、多様なプログラムを企画・実施しており、こどもが楽しんで通所できる支援につなげている	多様なプログラムを企画・実施するとともに、通信・ホームページ・SNS等で活動概要や行事予定、自己評価結果等を発信し、情報の透明性を確保している	様々な体験の理念をさらに広げ、体操教室等の保護者要望も参考にしながらプログラムの幅を充実させる
3	DX（ICT・システム活用）による保護者向けUIの整備を進め、連絡・情報共有等の利便性を高め、円滑なサービス提供につなげている	保護者向けUIを整備し、連絡・情報共有等の利便性を高めることで、円滑なサービス提供につなげるためPDCAを回し日々改善している	DXによる保護者UIの利便性向上を継続し、情報発信の即時性・分かりやすさをさらに高めることで、地域交流や家族支援等、認知度の低い取組の周知にもつなげる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団行動を支援のコンセプトとしているため、こどもの特性に応じた個性の高い訓練・支援がやや手薄になりやすい	集団行動を支援のコンセプトとしているため	集団活動の中に個別の特性を踏まえた声かけ・目標設定を組み込むなど、集団と個別支援を両立させる工夫を進めるとともに、職員研修を通じて特性理解や専門性を高める
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもとの活動機会について、実施状況が保護者に十分認知されていない	放課後児童クラブや児童館との交流を行っていない	地域交流の機会について、実施の有無・内容を整理した上で、保護者への情報発信（通信・連絡帳等）を強化する
3	固定曜日での利用により、SST等の特定プログラムが曜日によって受けられないケースがあり、活動の固定化につながっている	安定したサービスの提供の為固定曜日での契約を実施しているため	特定の曜日に偏らずどの曜日でもSST等のプログラムに取り組めるよう、週間の活動スケジュールを見直す